

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

深谷町と俣野町の人口は約 17,000 人。高齢化率は 36% を超え、町内会自治会単位でみると 50% に迫る地区もある。65 歳以上の人口は約 6,000 人を超えている。

介護保険の認定率は 16% 以下と戸塚区の平均を下回っている。年少人口はほぼ 12% と横ばいが続いている。環状 4 号線沿いに戸建ての住宅も増え、今後、若い世代の転入も見込まれる。障害・子育て・介護予防など住民活動の活発な地域もある。

介護保険認定率が戸塚区平均を下回る背景として、地域の住民活動が活発であることに加え、これまでケアプラザまで遠かったエリアでもあり、介護保険の情報が必要な人に届いていない、認定に至っていなかったなどの理由も考えられる。地域住民へのケアプラザの周知、また、山坂の多い地理的な状況もあるため、高齢者の閉じこもり予防や、交流の場の提供が課題である。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

市内のグループウェアソフトを活用し、【地域交流】【包括】ケースと分類するなどし、相談対応職員が情報共有、連携を図り、地域住民に相談しやすい環境整備に努めた。また、把握したケースは、必要に応じて、区役所、地域福祉団体、病院等の関係機関と適宜情報共有を図った。今年度は地域住民、サービス事業所等からみまもりネット対応ケース、緊急対応の相談が数件あり、適宜、関係機関と密に連携をとり対応した。

今後、高齢者増加に比例しての同様のケース増加を見込み、社会資源のネットワークを活用した予防策や、地域や関係機関とのスムーズな連携の必要性、創設されたばかりのケアプラザのより広い周知の必要性を感じている。

(3) 各事業の連携

現在家族を介護している方、これから介護を迎える方などを対象にした定期的な講座、交流会を実施するほか、介護・育児など複数のケアを抱える世帯の課題について情報共有した。

認知症家族を介護する方に向けたガイドブックを他都市の取り組みなども参考にしながら作成を行った

地域のひきこもりのニーズ把握の為の情報共有をとつかエコー、民生委員等と行い家族の包括的な支援のために、継続的な意見交換の場作りに向けた打ち合わせを実施した。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

【 職員体制・育成について 】

7月の開所し、10月には専門職の完全配置を実施。横浜市と戸塚区、社会福祉協議会等が開催する研修会、連絡会への参加を積極的に行い人材の育成を図ることで開所間もない時期でも地域相談や事業の開催を実施することができた。

【 公正・中立性の確保について 】

ケアプラザの職員であることを自覚して、同一事業所に偏ることがないように、「依頼管理表」を作成し、慎重に事業所の選定や調整を行った。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 連合町内会自治会定例会 2 回、老人クラブ連合会 3 回、民生児童委員協議会定例会 3 回、大正地区保健活動推進員会定例会 1 回参加させて頂き、事業周知や参加の依頼、報告などをさせて頂き、地域情報の共有を行った。
- ・ 各部署の定例会連絡会などの報告は所内メールで共有した。

(6) 区行政との協働

- ・ 第 2 期ハートプランで作成した地域福祉情報のマップの更新に向け、大正連合町内会、民生児童委員協議会、大正地区社協、子育て連絡会当と連携し、情報収集を行い、第 2 版の作成作業を行った。介護うつや介護離職の予防のため企業向けの介護相談、認知症の家族を介護する方の為のガイドブック作成などを行った。
- ・ 毎月、行政と定例カンファを持ち、地域の情報や、自主事業の進捗状況、支援困難個別ケースについて共有し、課題に向けて検討を行った。
また、地域ケア会議では、ケース選定から行政と一緒に話し合い開催を実施した。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 地域ボランティアを講師に趣味講座を複数回実施（和綴じ手帳づくり、包丁研ぎ講習会）し、ケアプラザ周知を行った。「いっばなし会議」では住民の対話の場づくりを通じて地域の課題抽出を行い、他のネットワーク会議と課題の共有を図った（いっばなし会議と子育て連絡会の連携。多世代交流等の共通の課題が上がった）
- ・ ダブルケアや働く世代が直面する介護についての情報提供とピアカウンセリングを目的に介護者カフェを実施。施設入所について実際に施設見学も実施。介護離職の予防や単身（未婚）で介護する人のニーズ把握のため、企業従業員様向けの出張相談を近隣介護事業所と連携して実施した。介護の自覚なく漠然とした不安を抱えている人に相談先や必要な情報提供することが出来た。
- ・ あったまり場、ひきこもりをテーマにした講演会を実施。障害児の余暇活動や子育て連絡会等、関係機関や地域施設と連携して実施した。
- ・ 自主事業の企画、報告書は所内メールで共有した。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設利用説明会には 100 名近くの方が参加。利用の手引きも作成し配布した。広報紙（1～3 号）に団体登録方法を掲載。自主事業の周知や報告をフェイスブックで掲載。他区、他エリアの住民からもフェイスブックを通じて参加の問い合わせがあった。
- ・自主事業実施時にはケアプラザ機能、自主事業、貸館について参加者に周知を実施した。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・シニアボランティアポイント登録研修は通算 8 回実施し、施設見学会も実施した。ボランティア団体の情報を施設間で共有した。
- ・ボランティア登録情報はサイボウズ上で活動希望内容によって管理検索できるようにした。
- ・傾聴ボランティア養成講座を実施し、卒業生を既存の傾聴ボランティアグループにつなげ活動実習を実施した。
- ・いっぽなし会議の参加者と「多世代交流」「交通」「健康作り」などの課題を共有し、年度末にボランティア講座を実施した。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域訪問時の得た地域情報や意見交換、会議録、自主事業の参加者からの声はカテゴリに分けてファイルに共有した。
- ・広報紙は隔月 1,600 部発行し、町内会自治会の回覧板、近隣施設等に郵送するほか、フェイスブックに掲載した。掲載情報もケアプラザ事業、地域の活動団体紹介（民生児童委員、コミュニティサロン、地区センター等）、地域の活動情報を提供した。
- ・今年度は高齢分野以外の地域の活動拠点等、地域アセスメントを目的として生活支援コーディネーターと地域訪問活動とデータの共有を重点的に行った。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・着任前から H29 コーディネーター共通研修に参加し、着任後も基礎研修や連絡会、次年度の自主事業等に津ながる研修に積極的に参加した。
- ・研修内容をケアプラザ内で共有できるように会議報告や報告書の作成を行い、また生活支援コーディネーターが取り組んでいる業務が見えるように発信して業務を進めた。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・原宿地域ケアプラザと協力し、ふらっとステーションや夢みんの総合事業申請の打ち合わせや後方支援のために 10 月から 1 月にかけて 10 回程度訪問を行った。
- ・地域資源の把握とケアプラザ周知を目的にサロンへは 5 回程度訪問し、また地域交流コーディネーターと一緒に、地域活動への参加等を積極的に行った。
- ・サービスリストについては、原宿地域ケアプラザや地域活動交流コーディネーターと協力し、情報の収集と整理を行った。

(3) 連携・協議の場

- ・今年度は自治会町内会や民生委員連絡会、子育て連絡会等へ、ケアプラザ周知と関係の構築、情報収集を目的として参加した。
- ・地域課題解決への具体的な取り組みは、次年度に繋げて行うことにする。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・包括と独居高齢者宅に訪問し、安否確認と安定した食事の提供を目的に高齢施設の配食サービスに繋がった。
- ・原宿地域ケアプラザの生活支援 CO と連携し、大正地区の地域情報の共有やサロンの同行訪問等、生活支援 CO の役割等について確認しながら活動を行った。
- ・今年度は 5 職種と連携し、ケアプラザの周知と地域資源の把握のための地域アセスメントを行った。地域アセスメントを継続し、課題の把握に努め課題の解決に繋がった。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・民生児童委員協議会の既存の定例会などの各関係機関や、自治会単位の老人会、サロン等へ出向き、民生委員や地域住民、サービス事業所等と関わりながら、社会資源の把握や包括の役割の周知、各種情報提供を行い、ネットワーク構築に向けた活動を行った。

② 実態把握

- ・訪問や窓口相談、関係機関からの関わり、自主事業でのアンケート、日計票などのデータ等から圏域の情報収集を行い、地域情報の把握に努めた。また、グラフ化したデータは、運営協議会にて発表した。

③ 総合相談支援

- ・相談者の個人情報保護、プライバシーを尊重し、個室での対応を原則として対応した。
- ・相談内容に応じて、インフォーマルサービスの情報提供を行い、サービス事業等へ適宜つなげており、所内にて、情報共有ソフトを活用して情報共有を行い、相談職の全職員が対応できるよう心掛けた。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域住民向けに講座を開催し(「老いの不安解消講座」)、その中で成年後見制度の周知、啓発、相談の掘り起こしを行った。
- ・後見制度については、個別にCMからの相談にも随時対応に努めた。
- ・消費者被害の防止、早期解決に向けては、事業所の開催する運営推進会議や、老人会などの地域での会合等に参加し、地域で起きてしまった悪徳商法や詐欺などの事例をもとに注意喚起をその都度行った。

② 高齢者虐待への対応

- ・区役所や関係機関と連携し、都度、情報の提供、交換を行っている。
- ・当事者組織「介護者のつどい」を月に1回、介護者教室『ラララ♪料理教室』を平成29年度は1回開催し、介護者の負担軽減と介護の知識を深めることを目指し、虐待防止に努めた。

③ 認知症

- ・地域の会合、老人会等に参加し、認知症の方に対する制度や相談機関、みつけてネット等などの情報提供を行い、認知症の方への関わり方などの周知啓発に努めた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・「民生児童委員とケアマネジャーの連絡会」を開催し、お互いの活動についての理解と地域ニーズの把握に努めた。
- ・地域住民に向けて「介護者教室」「出前講座」等の自主事業を行い、地域包括支援センターや介護保険制度の周知、地域包括ケアシステム構築の普及活動を行った。
- ・地域のボランティア団体のサロンや活動に参加し、インフォーマルサービスの情報収集。新しく立ち上げるサービスについて、個人情報も取り扱いや、住民の意向等に関して意見交換を行った。また、ケアマネジャーや相談者に対して、それぞれが必要な情報提供を行った。
- ・地域ケア会議の場を通して、個人情報に留意しながら、地域住民とケアマネジャーをはじめとする介護保険事業所、地域のボランティア団体、行政機関等で、課題を共有し問題解決のための連携を確認した。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・地域の医療機関・薬局等を訪問し、地域包括支援センターの自主制作した包括のちらしを持参した他、医療に対する情報収集を行った。
- ・地域のサロンで行う「戸塚区在宅医療連携室の医療相談会」に同席し、在宅医療相談室の職員と一緒に、医療や介護に関する相談に応じた。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーの質の向上を目指して、医療関係者や行政職員も交えての事例検討会を行い、ケアマネ自身の気づきや解決の糸口が見つけれられるよう支援した。
- ・随時、ケアマネジャーからの相談を受け、困難ケースについては同行訪問やケアマネのみの参加で、ケアマネ同士がピュアカウンセリングできる連絡会を開催した。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議を継続的に開催し、多職種での専門的視点を活用して、地域課題の洗い出しや解決方法の検討を行い、住民との協働による課題解決に努めた。
- ・エリア内の介護保険事業所やインフォーマル活動関係者が、地域資源としてのお互いを理解し、顔の見える関係を構築するために連絡会を開催した。
- ・地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参加し、事業所や参加者と共に、地域の状況やニーズを把握した。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・委託事業所に生活支援サービス補助事業をプランに取り入れてもらうため、実際のサービスBの事業所を訪問することで、内容を把握することができた。
- ・利用している利用者のプランに取り入れてもらうため、委託介護支援事業者及びサービスB事業者を交えてケースカンファレンスを行ったことで、情報共有の場を提供することができた。
- ・2月に原宿地域ケアプラザとの共催で、ケアマネジャー向けの介護予防ケアマネジメント及びインフォーマルサービスについての連絡会の開催を行った。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・介護予防普及啓発事業として、GOGO健康講座を8回開催した。ロコモ予防、認知症予防、栄養講座、口腔機能向上についての内容で、参加者は延べ158名で、参加者からは参加して良かったと好評を得た。
- ・シニアの健康作り教室を3回シリーズで開催。ロコモ予防の体操教室で参加者は延べ76名。「参加して良かった。」「また、講座を開催してほしい」と大好評で、次年度に第2弾の開催の希望があがった。
- ・地域住民からの体操をやりたいとのニーズが高く、次年度は保健活動推進員との共催にて体操教室の開催も予定することになった。

5 その他

--

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ① 基本協定書に基づき、業者委託にて定期清掃・施設管理業務を行い、施設の快適な環境維持管理に努めた。
- ② 建築物や建築設備等の破損または汚損に対する予防保全に努めるとともに、建築基準法第 12 条に基づく点検、施設管理者点検（簡易点検）の実施により経年劣化状態を判断し、区と協議の上、利用者の安全を第一に考えた上で速やかに回復または保全措置を行った。
- ③ 小破修繕については、日常的な点検により早期発見に努め、区と協議の上（10 万円以上は協議書提出、10 万円未満は修繕実施報告書の提出）対処した。（駐車場のすべり止め床材補修。）
- ④ 利用者に対しては、施設を快適・安全に利用できるよう「利用の手引き」を渡し、必要な助言等を行った。
- ⑤ 物品等については、Ⅰ種物品管理簿（横浜市所有物品）・Ⅱ種物品管理簿、固定資産物品台帳、物品管理シール等により適切な管理を行った。
- ⑥ 横浜市所有物品を廃棄はなかった。
- ⑦ 植栽管理については、職員による除草作業を行い良好な景観を保持した。

(2) 効率的な運営への取組について

- ① 地域交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、居宅介護支援の各職員が常に情報を共通認識し、コストの無駄がないように効率的運営を行った。
- ② 地域の中で問題の早期発見に努め、保健・福祉・医療の専門職やボランティア、民生委員等地域福祉を支える様々な関係者と密接な連携を図りながら、効率的な運営を行った。
- ③ 7 月と 3 月に開催した運営協議会（年 2 回）や 10 月に実施した「利用者アンケート」（年 1 回）、ご意見ボード（掲示板）の設置、区役所による事業実績評価等を通じて利用者及び関係者の意見を会議で共有し改善や見直しをするなどして、指定管理業務に反映するよう努めた。
- ④ 毎日、朝礼時にミーティング（最近の出来事報告、提出締め切り日の確認、注意事項の報告等）を行い、さらに各部署間がパソコンで迅速に情報を伝達し、日々多量に流入してくる情報の共有と整理を行った。

(3) 苦情受付体制について

- ① 苦情解決責任者（所長）、苦情受付担当者（事務所職員）、第三者委員（民生委員・主任児童委員）を置き、苦情を受けた際には苦情対応マニュアルに基づき誠意ある対応をして苦情解決に取り組む体制を作った。また、公的機関においても苦情申し出ができる旨説明し、連絡先を紹介できる体制を作った。（国保連等）
- ② 第三者委員会会議を年に一度開催しました。なお必要に応じた臨時開催をすることはなかった。
- ③ 年 1 回以上全部署でアンケート調査を行い、その結果、改善策を検討・実施し、その後の振り返りも含めて、館内掲示等で公表をしました。また第三者委員に報告をした。
- ④ 館内に設置しているご意見ボード等を通じて、日常的に利用者のニーズ・要望・苦情等を受け付ける体制を作った。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 防犯・防災マニュアルを職員に周知し、速やかに必要な措置をとるよう担当委員を配置した。
- ② 災害時対応マニュアルに基づき、防災・避難訓練を実施するよう、担当委員を配置した。
- ④ 災害時は特別避難場所開設マニュアルに基づいて特別避難場所を開設ができるように担当委員を配置した。また、災害時応急備蓄物資が3階の多目的ホールに保管された。
- ⑤ 日常の館内巡回や点検を行い、夜間不在時は機械警備により犯罪や事故防止に努めた。
- ⑥ ケアプラザ所有の鍵は、管理責任者を所長とし、適切な管理に努めた。
- ⑦ 災害、事故発生時には、速やかに適切な対応を図るとともに、関係者及び行政機関、警察、消防署等に対してその旨報告し指示に従うようにマニュアルを作成した。
- ⑧ 各種マニュアルは担当委員を配置し、随時及び職員会議で内容の確認を行い、作成、見直しを行った。

(5) 事故防止への取組について

- ① 事故に関する情報提供を行い、事故を未然に発生させないように、声かけと意識付けを行った。また事故は発生しなかったが、今後の発生に備えて、毎朝会議で再発防止にむけた体制をつくった。
- ② 朝の会議において、随時発生していた他の施設での自動車事故、個人情報漏洩事故などの事例を全職員が共有し、事故防止意識を高めるように努めた。
- ③ ヒヤリハットのエピソードをヒアリングして、事故につながりそうなヒヤリとした事は、各職員が確認するなど、予防に努めた。
- ④ 朝礼を通じて電動自転車の使用頻度が高いため、空気圧、ライト等の日常整備点検の実施、安全の意識啓発をするように努めた。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 法人の「個人情報取扱規則」に則り、個人情報及び文書等の管理を徹底した。また、関係者に以下のような書類提出を義務付け、個人情報漏洩防止に努めた。「個人情報に関する誓約書(職員用)」・「職員の個人情報に関する同意書」・「個人情報に関する誓約書(ボランティア用)」等。
- ② F A Xや郵送等で個人情報を扱う際は、2名で確認し、個人を特定できる箇所は削除する等具体的なルールを設け、個人情報漏洩防止に努めた。
- ③ 職場にて個人情報保護についての研修を行い、職員全員が常に緊張感を持って個人情報を取り扱うようにした。
- ④ 保有するすべてのパソコンにウィルス対策ソフトを導入し、常に最新のデータベースを更新し、外部からの不正アクセスに対してセキュリティ対策を施した。
- ⑤ パソコンを使用する際には、パスワード入力を必要とし、盗難時の被害を最小限に止める。また退勤時に鍵付き書庫にしまうこととし、盗難防止に努めた。
- ⑥ 個人情報データのU S B保存は禁止とした。

(7) 情報公開への取組について

- ① SNS、施設の窓口、掲示板、広報紙「ふかやまたの」等で情報公開を行う。
広報紙は町内会・自治会に回覧をし、その他学校、医療機関、近隣のケアプラザ、区役所、区社協、地区センター、区民活動支援センター等に配布し、大正地区東西民生児童委員、老人会、地域の福祉保健活動団体等には郵送した。また、希望者にも広報紙の個別郵送をした。
- ② 事業計画書（予算書含む）・事業報告書（決算書含む）を館内ロビーのラックに置いて、来館者が自由に閲覧できるようにした。
- ③ 介護サービス情報の公表制度に基づき、介護保険事業のサービス内容や事業所の運営状況等について指定機関を通じてインターネット上で公表された。
- ④ その他法人が所有する情報について文書開示の申出を受けた際には、法人の規程・規則に則り適切に対応をした。
- ⑤ 介護保険事業所の運営規程、重要事項説明書を館内に掲示した。

(8) 人権啓発への取組について

- ① 外部研修への参加や職員会議において研修機会を設け、「横浜市人権施策基本方針」の4つの基本姿勢に基づき職員の「人権に関する意識」を高めるように、パンフレットを回覧した。また、「互いの価値観を認め合う」ことが人権尊重につながることを職場内において実践できるよう指導を行った。
- ② 人権侵害や差別問題で困っている方には、適宜「横浜地方法務局人権擁護課」や「子供の人権110番」、「女性の人権ホットライン」、「横浜市市民相談室」等の相談機関を紹介できるようにした。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ① ヨコハマ3R夢(スリム)プランに基づき、リサイクル（ごみの分別）、リユース（コピー用紙の裏面再使用等）、リデュース（書類のプリントアウト量を最小限に抑える等の発生抑制）、温暖化対策・CO₂削減（節水、節電、冷房および暖房の適正温度設定、電動自転車の活用により車の使用を控える等環境に配慮した取組）を行った。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター三職種3名

《目標に対する成果等》

- ・要支援認定者や事業対象者が介護状態になることを予防する意義を理解し、自らの意思により目標を持って身体機能や生活を維持向上させていくことが出来るように支援した。
- ・横浜市日常生活総合支援事業に伴う介護予防ケアマネジメントのアセスメントを適切に行った。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護保険サービスや総合支援事業を利用する際に、インフォーマルサービスや地域活動、ケアプラザの事業なども幅広く活用して、自立した生活が継続できるよう助言し調整をした。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
			132	133	135
10月	11月	12月	1月	2月	3月
139	140	145	147	143	151

●居宅介護支援事業

《職員体制》

居宅介護支援事業所 管理者常勤兼務 1名
介護支援専門員常勤 2名

《目標に対する成果等》

・利用者の皆様が住み慣れた地域において、その人らしく、自立した生活を送ることができるよう利用者の意向に寄り添ったケアプランを立案し、家族、地域の方々、介護・医療・福祉の各関係機関と連携しチームとして支え合い、適切なケアマネジメントを行いました。本人、家族をとりまく環境が複雑化する中、家族への支援を重要な課題の一つと捉え、多様なケースに対応できるよう積極的に研修等に参加し、専門職として自己研鑽する研修に出席しました。また、職員同士が互いを理解し、自身の持つネットワークを繋ぎ、わかち合うことで、良質な支援を行えるように日々の努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●実費負担なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した生活を営むことができることをケアプラン位置付けました。
また同建物の地域包括支援センターと連携して、緊急対応や土日祝日の対応などを実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
			39	44	51
10月	11月	12月	1月	2月	3月
51	58	62	73	63	63

平成29年度「横浜市深谷横浜地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,731,140	201,924	13,529,216	13,529,216	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	17,000	17,000	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	13,731,140	201,924	13,529,216	13,546,216	17,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,126,480	0	8,126,480	8,131,824	5,344	
本俸	5,335,214		5,335,214	5,339,054	3,840	
社会保険料	688,935		688,935	688,838	97	
手当計	1,923,169		1,923,169	1,924,770	1,601	
健康診断費	82,590		82,590	82,590	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	83,772		83,772	83,772	0	
その他	12,800		12,800	12,800	0	インフルエンザ予防接種
事務費	1,011,983	0	1,011,983	1,108,795	96,812	
旅費	19,795		19,795	14,850	4,945	利用者訪問・会議参加交通費・駐車場代等
消耗品費	218,188		218,188	260,015	41,827	事務用品・コピー用紙・OA消耗品・日用品
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	150,000		150,000	154,515	4,515	コピーカウント料・名刺等
通信費	244,000		244,000	311,441	67,441	電話・インターネット回線使用料・切手・はがき代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	236,000		236,000	234,688	1,312	
図書購入費	0		0	1,490	1,490	館内利用書籍代
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	10,000		10,000	7,702	2,298	研修参加費・研修参加交通費
振込手数料	4,000		4,000	1,512	2,488	振込手数料
リース料	39,000		39,000	37,038	1,962	玄関マット・モップレンタル代
手数料	54,000		54,000	53,419	581	OA銀行・携帯初期設定・塵芥処理料・税理士顧問料
地域協力費	6,000		6,000	1,958	4,042	来客用お茶代
その他	31,000		31,000	30,167	833	OAソフト保守
事業費	256,090	0	256,090	52,580	203,510	
運営協議会経費	31,500		31,500	15,534	15,966	予算・指定額
指定管理料充当 事業	224,590		224,590	37,046	187,544	
管理費	3,686,469	0	3,686,469	2,670,102	1,016,367	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,533,330		1,533,330	717,579	815,751	
電気料金	780,000		780,000	633,340	146,660	
ガス料金	413,330		413,330	6,024	407,306	
水道料金	340,000		340,000	78,215	261,785	
清掃費	815,947		815,947	815,946	1	
修繕費	355,500		355,500	153,576	201,924	予算・指定額
機械整備費	147,489		147,489	148,799	1,310	
設備保全費	834,203		834,203	834,202	1	
空調衛生設備保守	109,605		109,605	109,605	0	
消防設備保守	106,650		106,650	106,650	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	617,948		617,948	617,947	1	昇降機・自動ドア
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	650,118	0	650,118	650,545	427	
事業所税	0		0	0	0	この列は入力しない
消費税	650,118		650,118	650,545	427	
印紙税	0		0	0	0	この列は入力しない
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	この列は入力しない
当該施設分	0		0	0	0	この列は入力しない
二一ズ対応費	0		0	0	0	この列は入力しない
支出合計	13,731,140	0	13,731,140	12,613,846	1,117,294	
差引	0	201,924	201,924	932,370	1,134,294	

自主事業費収入	224,590		224,590	0	224,590	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	224,590		224,590	37,046	187,544	
自主事業収支	0	0	0	37,046	37,046	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「横浜市深谷俣野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	17,435,751	421,176	17,014,575	17,014,575	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	111,187		111,187	111,187	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	4,341,750	2,006,375	2,335,375	2,335,375	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	2,000	2,000	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	21,888,688	2,427,551	19,461,137	19,463,137	2,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	18,351,067	0	18,351,067	15,027,602	3,323,465	
本俸	9,692,104		9,692,104	8,310,908	1,381,196	
社会保険料	2,014,485		2,014,485	2,014,408	77	
手当計	6,344,243		6,344,243	4,402,051	1,942,192	
健康診断費	36,110		36,110	36,110	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	251,325		251,325	251,325	0	
その他	12,800		12,800	12,800	0	インフルエンザ予防接種
事務費	1,517,647	0	1,517,647	1,145,341	372,306	
旅費	15,000		15,000	10,380	4,620	利用者訪問・会議参加交通費・駐車場代等
消耗品費	299,647		299,647	198,362	101,285	事務用品・コピー用紙・OA消耗品・日用品・ゴム
会議ठीい費	0		0	0	0	
印刷製本費	304,000		304,000	168,447	135,553	コピーカウント料・名刺等
通信費	381,000		381,000	271,908	109,092	電話・インターネット回線使用料・切手・はがき代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	57,000		57,000	45,850	11,150	研修参加費・研修参加交通費
振込手数料	2,000		2,000	540	1,460	振込手数料
リース料	39,000		39,000	36,498	2,502	玄関マット・モップレンタル代
手数料	63,000		63,000	62,491	509	OA銀行・携帯初期設定・塵芥処理料・税理士顧問料
地域協力費	6,000		6,000	1,958	4,042	来客用お茶代
その他	351,000		351,000	348,907	2,093	OAソフト保守
事業費	1,040,027	0	1,040,027	279,555	760,472	
協力医	472,500		472,500	105,000	367,500	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	224,590		224,590	14,562	210,028	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	111,187		111,187	112,289	1,102	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	231,750		231,750	47,704	184,046	予算・指定額
管理費	979,947	0	979,947	709,770	270,177	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	407,029	0	407,029	190,748	216,281	
電気料金	210,000		210,000	168,363	41,637	
ガス料金	97,029		97,029	1,596	95,433	
水道料金	100,000		100,000	20,789	79,211	
清掃費	216,896		216,896	216,897	1	
修繕費	94,500		94,500	40,824	53,676	予算・指定額
機械警備費	39,775		39,775	39,553	222	
設備保全費	221,747	0	221,747	221,748	1	
空調衛生設備保守	29,135		29,135	29,135	0	
消防設備保守	28,350		28,350	28,350	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	164,262		164,262	164,263	1	昇降機・自動ドア
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当施設設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	21,888,688	0	21,888,688	17,162,268	4,726,420	
差引	0	2,427,551	2,427,551	2,300,869	4,728,420	

自主事業費収入	567,527			2,000		予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	567,527			174,555		
自主事業収支	0			172,555		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 深谷俣野地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	2895	6292
	その他	3427	994	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	3427	0	0	0
	事業・負担金収入	0	691	0	0
	寄付金収入	0	300	0	0
	その他	0	3	0	0
	収入合計(A)	6322	7286	0	0
支出	人件費	0	8981	0	0
	事務費	0	2726	0	0
	事業費	0	204	0	0
	管理費	0	0	0	0
	その他	4887	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	4887	0	0	0
	その他				
	支出合計(B)	4887	11911	0	0
	収支 (A) - (B)	1435	-4625	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者の集い:8/22	①地域住民	885	地活					885
	②7人		包括	885				
	③0円		生活					
地域ケア会議	①地域住民	216	地活					216
	②41人		包括	216				
	③0円		生活					
のぼそう健康寿命	①地域住民	560	地活					560
	②10人		包括	560				
	③0円		生活					
介護者教室	①地域住民	12901	地活					
	②10人		包括	10901	2000			12901
	③200円		生活					
いいっぱなし会議・介護者カフェ	①地域住民	3351	地活	3351				3351
	②23人		包括					
	③0円		生活					
和綴じ手帳作成	①地域住民	3154	地活	3154				3154
	②10人		包括					
	③0円		生活					
ふかやまたのカフェ	①地域住民	5510	地活	10	5500			5510
	②110人		包括					
	③100円		生活					
包丁研ぎ講習会	①地域住民	6803	地活	803	6000			6243
	②6人		包括					560
	③1000円		生活					
親子工作教室・中止	①地域住民	560	地活	560				560
	②0人		包括					
	③0円		生活					
障害学習会	①地域住民	10324	地活	10324			10324	
	②71人		包括					
	③0円		生活					
子育て支援	①地域住民	7344	地活	7344				7344
	②23人		包括					
	③0円		生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーの連絡会	<p>目的：利用者支援の為に、民生委員とケアマネジャーが、お互いの活動を理解して、顔の見える関係作りを行う場を提供する。</p> <p>内容：民生委員より「民生委員・児童委員の活動」と「地域のインフォーマルサービス」について説明。「包括・居宅・施設・小規模多機能」の各事業所のケアマネより、各事業所の説明とケアマネの仕事について説明する。担当する利用者の民生児童委員とケアマネジャーが、同じグループで、テーマに沿って話し合い、情報を共有する。</p>	9月 ・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会 「地域について本音で語ろう」	<p>目的：利用者に関わる近隣の方や民生委員等との付き合い方について、日ごろの想いを語り合い、課題についての解決方法を考える。</p> <p>内容：地域との関りで困っていた事例について、CM同士で、互いに共感・共有し解決方法を考える、ピュアカウンセリングの場にもなっていた。民生委員や地域とのつながりの把握していないCMが複数いたが「地域と連携することの必要性を感じた」との振り返りができた。</p>	12月 ・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会 「事例検討会」	<p>目的：ケアマネジャーが困難と感じている事例に対し、他のケアマネジャーも交えて、ケアプランや支援を振り返り関り、今後の活動に活かしていく。</p> <p>内容：ケアマネの他にMSW・区の高齢支援担当・生活支援担当も参加。前向きで建設的な検討の他、行政や病院からの情報提供もあり、改めて多職種連携の重要性やスキルアップにつながったとの感想も多数聞かれた。</p>	1月 ・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携・介護予防講座 「健康寿命について」	<p>目的：包括的継続的ケアマネジメントの中のひとつ（医療連携）として、地域の保険医療機関が、地域貢献できる場を設定する。参加地域住民にケアプラザや地域包括ケア周知活動を行う。</p> <p>内容：事業所から、訪問看護や訪問リハについての説明を行い、介護予防の観点から「健康寿命」をテーマに運動習慣の必要性を説き、セルフケアを取り入れた簡単な運動行い、地域住民に自助について意識付けを行った。</p>	12月 ・ 年1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見制度に関する講座	成年後見制度単体講座では、なかなか集客できない現状があるため、より多くの方への制度の周知、理解を深めていただくために、地域の方の関心がより高い「相続」や「介護」等とからめて講座を開催した。	年1回程度 随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい/介護者教室	在宅で介護されている方の思いを当事者同士で共有し、精神的な負担の軽減を図り、虐待防止につなげる。また、介護に関する情報提供を行うとともに、協力医を招き、アドバイスを受けて頂くことで、介護をする上での知識を深めると共に、知らないことによる不安感を取り除くことも目的とした。	毎月1回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 GOGO健康講座	地域への介護予防普及啓発を目的として、げんきチェック、ロコモティブシンドローム予防、口腔機能向上、栄養改善、認知症の理解と予防についての講座を計8回開催した。	10月26日 11月2日 11月9日 11月16日 11月30日 12月7日 11月14日 12月21日 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒骨折予防教室	転倒や古拙が原因で介護が必要になる方も多いため、日常生活の中で注意して行動できることを目的として、介護予防の観点から講座を開催した。	2月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 シニアの健康作り教室	ロコモティブシンドローム予防のため、地域住民を対象にした体操教室を講師を招き講座を3回開催した。	1月18日 2月1日 2月15日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護食品の試食会	今年度は実施することができなかつたため、平成30年度引き続き計画する。	実施なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン・食支援連絡会	今年度は、サロンや食生活等改善推進委員等の活動把握と関係の構築を主に行い、連絡会の開催を行うことはできなかつた。各団体の活動目的、方針が異なるため合同の連絡会の開催は困難と感じた。今後は必要に応じて、個別に関わりを持っていくこととした。	実施なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協議体	運営協議会と二部構成で協議体を実施し、次年度以降の地域づくりの動機付けを目的に開催。 参加者よりそれぞれの立場で感じている地域の現状や課題について意見をうかがった。 「2025年問題・生活支援体制整備事業について地域住民への周知不足」、「高齢、子供、働く世代、障害の総合的な地域共同体の意識改革の必要性」、「地域で増加する高齢者を支えていかなければならない課題」等が挙げられた。	平成30年3月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったまり場	<p>目的 心の病の方やご家族を対象に、ひきこもりの予防のための居場所の提供と精神保健福祉の啓発周知を行った。</p> <p>内容 毎月第3土曜日12時半～14時までのフリースペース</p>	9月より月1回 7回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズ認知症講座	<p>目的 認知症と福祉教育を親子や多世代で学ぶ</p> <p>内容 きらめき認知症トレーナーの方を講師に迎え、認知症や視覚障害、内部疾患の方の生活上の困り感について理解を促し、共感できる社会教育を実施した。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害学習会	<p>目的 障害のある子どもを持つ保護者や支援関係者を対象にしたネットワーク構築</p> <p>内容 異年齢の子どもを持つ保護者の皆さんの課題を共有した経験交流（ぐるーぷちえのわ・原宿ケアプラザ共催）、講師を招いた当事者勉強会を実施した。</p>	7, 9, 11, 1, 3月 年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大正プロジェクト	<p>目的 障害のあるこどもの放課後の余暇活動支援 子どもと保護者の地域のつながり作り 施設連携（大正地区センター、高齢者福祉施設、障害者施設）</p> <p>内容 地域のボランティアを講師に迎え大正小学校個別支援級在籍の児童と保護者、地域の福祉施設と運動のプログラムを放課後に実施（風船バレー、けん玉、エアロビクス等）</p>	7, 8, 9, 1 1, 1, 3月 年7回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきUP交流会 再度 ファイル 確認すること	<p>目的 影取・東俣野住民の方中心の介護予防と閉じこもり予防の場の提供、健康意識の向上 地域内の高齢者施設、医療機関、企業の連携</p> <p>内容 骨密度・血圧・握力測定、認知機能を計測し、地域住民の健康状態を把握し、地域支援に活かすことができるように開催実施をした。（げんきUP交流会は町内会自治会を主催とし企業・福祉施設の共催で実施）</p>	7, 8月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いいっぱなし会議 ファイル再確認	<p>目的 まちづくりの担い手の拡充 地域課題の把握と共有 企業・大学・施設連携による地域課題の解決</p> <p>内容 暮らしの困りごとなどを幅広い参加者同士で対話を通して共有し、参加者・企業・大学等様々な主体で解決の手法を検討するワークショップ （横浜コミュニティデザイン・ラボ、特別養護老人ホーム和みの園と共催）</p>	10月から 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボラン ティアポイント 登録研修会・施 設連絡会	<p>目的 よこはまシニアボランティアポイントの登録者の拡充と登録施設の活動の拡大 登録施設連携</p> <p>内容 シニアボランティアポイント制度の概要等の研修講義の実施 大正地区内の高齢者施設の連携、地域状況の共有を図る施設連絡会と登録者を対象にした施設見学会も実施した。 （原宿ケアプラザと共催）</p>	9, 11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
傾聴ボランティ ア養成講座&認 知症サポーター 養成講座	<p>目的 高齢者の孤立とひきこもりの予防 高齢者施設や個人宅訪問の傾聴ボランティアの養成と派遣</p> <p>内容 傾聴の基礎、傾聴ワークなど3回講座を実施した。</p>	10月 11月 12月

平成29年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひきこもり講演会	<p>目的 ひきこもりの現状と課題の周知 子育て世帯や思春期の子どもたちの地域のみまもりの啓発</p> <p>内容 NPO法人パノラマの石井正宏さんを講師に思春期の子どもたちの置かれた現状やひきこもりの予防のために地域でできることを考えるワークショップ（生活支援センターとの共催）を実施した</p>	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
働く世代の介護者（ケアラーズ）カフェ	<p>目的 介護離職の予防のため介護の予備知識の周知 就労・育児と介護を行う人の孤立予防</p> <p>内容 介護の基礎知識の提供 参加者同士の交流と課題の共有と解決についてぴあカウンセリングを実施</p>	10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カルチャー講座	<p>目的 ケアプラザの周知 アクティブシニアの活動と交流の場の提供 地域ボランティア人材の活用</p> <p>内容 オリジナル手帳作り、包丁研ぎなど地域のボランティアを講師に趣味講座を実施した</p>	11月 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て連絡会 ファイル再確認	<p>目的 大正地区の子育て支援に関わる団体とのネットワーク構築 地域課題の共有</p> <p>内容 地域課題の共有、事業開催スケジュールの共有等を実施</p>	11月、3月 2回